

京都市地区小学校教科書選定委員会 答申

「家庭科」について、以下の観点に基づき、発行社ごとに教科書を調査・研究した。

選定の観点

- 1 基礎的・基本的な知識・技能の内容の確実な習得を図るための工夫・配慮がされていること。
- 2 習得した知識・技能を活用した問題発見・解決的な学習や豊かな言語活動が展開しやすいなど、思考力・判断力・表現力等の育成につながるよう工夫・配慮されていること。
- 3 児童が主体的・対話的に学ぶことができるよう、探究意欲を高める工夫・配慮がなされ、さらに、学んだことを活用した発展的な学習が展開しやすいこと。
- 4 生活をよりよくしようと工夫する資質・能力の育成に向け、生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、自分の生活における課題を解決し、より豊かにすることを追究する活動が展開しやすいこと。
- 5 児童の家庭生活への関心を高め、実践的・体験的な学習活動を通して、衣食住等の生活の営みや我が国の伝統的な食文化を大切にする意欲や態度、また、自立した消費者としての素養を育めるよう工夫・配慮されていること。
- 6 題材構成の系統性・発展性に加え、カリキュラム・マネジメントの視点から他教科等や現代的な教育諸課題との関連、また他校種との接続や家庭・地域との連携について工夫・配慮されていること。
- 7 基本的人権の尊重及び道德性の育成の視点に立った内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道德教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。
- 8 表記や表現について、文章や写真、図表等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成等について配慮がなされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

調査研究の結果の概要

■東京書籍「新しい家庭」

各題材の冒頭に、その題材で学習する内容についての分かりやすいリード文と、3段階のステップで具体的な学習活動を提案する「学習の流れ」が示されており、学習の流れが明確で見通しをもった学習が進めやすい。また、「学習の流れ」には、3段階のステップごとに「めあて」、「ふり返ろう」が設定されているとともに、最後には「できたかな？」として題材を通した学びを振り返ることができるよう工夫されている。さらに、巻頭の折込資料には、学習内容を児童自身が振り返り、自己評価できる一覧表が用意されているなど、優れている。

家庭科の見方・考え方については、「家庭科の窓」として、巻頭の折込資料で詳しく紹介するとともに、各題材で学んだ知識・技能を生かし、自身の生活に照らして捉える見方・考え方が示されており、見方・考え方を働かせた学習が進めやすく、よく工夫されている。

各題材は、まず家族の一員としての自身の役割や生活を見つめ直し、次に実習を行った後、その実習で習得した知識・技能を生かして、実際に家庭で実践するとともに、実践したことを生かして自身の家族の中での役割や生活の改善等につなげる構成に統一されており、生活の課題を解決し、よりよくしようとする資質・能力の育成が図りやすく、よく工夫されている。

題材構成の系統性を可視化するため、テーマごとに色分けするとともに、適宜配置される「いつも確かめよう」コーナーで、習得した知識・技能を次の題材でも繰り返し確認し、学習活動に生かされるよう工夫されている。

■開隆堂出版「小学校 わたしたちの家庭科」

各題材の冒頭に、「学習のめあて」として、その単元における学習活動を通じて身に付けさせたい知識・技能が、「見つける 気づく」、「わかる できる」、「生かす 深める」の3段階で示されており、学習の見通しがもちやすい。また、3段階の学習活動には、各段階ごとに「ふり返ろう」、「生活に生かそう」が設定されているとともに、学習活動の終わりには、「できたかな？」として題材を通した学びを振り返り、チェックする活動が設けられるなど工夫されている。

家庭科の見方・考え方については、巻頭の折込資料に、四つ葉のクローバーのイラストを用いて、見方・考え方が示されるとともに、各題材には、キャラクターの吹き出しで、その題材で重視される見方・考え方が示されるなど、見方・考え方を働かせた学習が進めやすい。

題材については、各題材の実習等で習得した知識・技能を活用して、実践的な活動に結び付けられる構成となっているとともに、家庭生活や家族の題材が各学年のはじめに設定されており、生活を見つめ直すことから学習を始めるよう工夫されており、また、家庭生活においてどのような役割があるのかを見つめ直したり、自分にできる役割やそれを実践するための手順・方法について考えたりする題材が適宜設けられている。さらに、持続可能な社会へとつながる環境や防災、伝統文化などをテーマに、家庭や地域の課題解決に向けた実践例など紹介する「チャレンジコーナー」が、長期休業中にも取り組みやすいよう各学期末に設定されており、学校や地域の実態に応じた学習活動が進めやすい。

※詳細の結果・データは、観点別資料及び観点別・視点別評価資料に記載。

選定の観点		選定の視点		東京書籍	開隆堂
1	基礎的・基本的な知識・技能の内容の確実な習得を図るための工夫・配慮がされていること。	1	学習課題と目標の明示	◎	○
		2	まとめと振り返りの工夫	◎	○
		3	基礎的・基本的な内容の定着に向けた工夫	○	○
		4	安全・衛生への自覚を促す配慮	○	○
2	習得した知識・技能を活用した問題発見・解決的な学習や豊かな言語活動が展開しやすいなど、思考力・判断力・表現力等の育成につながるよう工夫・配慮されていること。	1	問題解決的な学習の展開	○	○
		2	語句の理解及び言語活動の充実	○	○
3	児童が主体的・対話的に学ぶことができるよう、探究意欲を高める工夫・配慮がなされ、さらに、学んだことを活用した発展的な学習が展開しやすいこと。	1	主体的・対話的な学習に向けた工夫	○	○
		2	探究意欲を高め、発展的な学習につなげる工夫	○	○
		3	実習例や実習手順の提示	○	○
		4	「課題と実践」に関する記述	○	○
4	生活をよりよくしようと工夫する資質・能力の育成に向け、生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、自分の生活における課題を解決し、より豊かにすることを追究する活動が展開しやすいこと。	1	家庭科の見方・考え方に関する記述	◎	○
		2	生活をより豊かにするための工夫	◎	○
5	児童の家庭生活への関心を高め、実践的・体験的な学習活動を通して、衣食住等の生活の営みや我が国の伝統的な食文化を大切にしたい意欲や態度、また、自立した消費者としての素養を育めるよう工夫・配慮されていること。	1	家族や地域の人々との関わりの充実	○	○
		2	伝統文化に関する内容	○	○
		3	持続可能な社会の構築を目指す学習内容の工夫	○	○
		4	自立した消費者の育成を目指す学習内容の工夫	○	○
6	題材構成の系統性・発展性に加え、カリキュラム・マネジメントの観点から他教科等や現代的な教育諸課題との関連、また他校種との接続や家庭・地域との連携について工夫・配慮されていること。	1	題材構成の系統性・発展性	○	○
		2	他教科や教育課題等との関連	○	○
		3	他校種との接続	○	○
		4	家庭・地域との連携	○	○
7	基本的人権の尊重及び道徳性の育成の視点に立った内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道徳教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。	1	人権教育の推進	○	○
		2	道徳教育の推進	○	○
8	表記や表現について、文章や写真、図表等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成等について配慮がなされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。	1	文章や写真、図表等の適切さ、正確性、使いやすさの工夫	○	○
		2	ユニバーサルデザインの視点	○	○
		3	装丁や編集の適切さ、堅牢性の工夫	○	○
		4	用紙、インク等の環境面への配慮	○	○

【家庭】観点別資料

【選定の観点１】

基礎的・基本的な知識・技能の内容の確実な習得を図るための工夫・配慮がされていること。

発行者名	
2 東書	9 開隆堂
○各題材の冒頭に、その題材で学習する内容についての分かりやすいリード文と共に、３段階のステップで具体的な学習活動を提案する「学習の流れ」が示されており、学習の流れが明確で見通しをもった学習が進めやすく、優れている。 ○基礎的・基本的な知識・技能の大切なポイントをまとめた「いつも確かめよう」コーナーが各所に配置されており、必要なときにいつでも繰り返し確認することができるとともに、実習と組み合わせ提示することで、実生活にも生かせるよう、よく工夫されている。 ○「学習の流れ」に示されている学習活動には、３段階のステップごとに「めあて」「ふり返ろう」が設定されているとともに、最後には「できたかな？」として題材を通した学びを振り返ることができるよう工夫されている。また、巻頭の折込資料には、学習内容を児童自身が振り返り、自己評価できる一覧表が用意されているなど、優れている。 ○見開き２ページを使用し、調理や裁縫などの実習活動の手順が写真やイラスト、図解を効果的に使い分けて掲載されており、一つ一つの手順が捉えやすく、基礎的・基本的な知識・技能の習得の手立てとなっている。また、巻末の「いつも確かめよう」拡大版では、右利き用と左利き用の実物大の作業場面の写真が掲載されており、実際に紙面に手を載せて練習できるよう工夫されている。 ○安全面や衛生面の配慮が必要な実習には、「安全」「防災」マークを付して意識付けが図られるとともに、具体的な実習場面や危険回避の対処方法等をイラストや図を用いてわかりやすく紹介する特集ページ「安全に実習しよう」が折込資料で設けられており、基礎技能の習得と安全指導の手立てとなっている。	○各題材の冒頭に、「学習のめあて」として、その単元における学習活動を通じて身に付けさせたい知識・技能が、「見つける 気づく」「わかる できる」「生かす 深める」の３段階で示されており、学習の見通しがもちやすい。 ○各題材の扉ページに、生活の様々な場面を想起させたり、着目させたりする写真やイラストが掲載されるとともに、児童の吹き出しなどで、自らの生活を見つめ、課題に気付く視点が提案されており、導入時の学習において、児童に学習目標を意識させやすい。 ○各題材の「学習のめあて」で示される３段階の学習活動には、各段階ごとに「ふり返ろう」「生活に生かそう」が設定されているとともに、学習活動の終わりには、「できたかな？」として題材を通した学びを振り返り、チェックする活動が設けられるなど工夫されている。 ○見開き２ページを使用し、調理や裁縫などの実習活動の手順が写真やイラスト、図解を効果的に使い分けて掲載されており、一つ一つの手順が捉えやすく、基礎的・基本的な知識・技能の習得の手立てとなっている。また、巻末には、右利き用と左利き用の実物大の作業場面の写真が掲載されており、裏表紙には、写真を用いた包丁の切り方一覧表が掲載されるなど工夫されている。 ○安全面や衛生面の配慮が必要な実習には、「安全」「防災」マークを付して意識付けが図られるとともに、調理実習や制作実習の風景を示す特設ページにおいて、危険な場面を探す活動が設けられており、基礎技能の習得と安全指導の手立てとなっている。

【選定の観点2】

習得した知識・技能を活用した問題発見・解決的な学習や豊かな言語活動が展開しやすいなど、思考力・判断力・表現力等の育成につながるよう工夫・配慮されていること。

発行者名	
2 東書	9 開隆堂
○各題材に、「やってみよう」「調べよう」「話し合おう」などの言語活動が提案されている。また、すべての題材で、課題発見「見つめよう」、課題解決「計画しよう・実践しよう」、学習を深める「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」の3ステップの問題解決的な学習が提案されており、思考力・判断力・表現力等の育成につながるよう工夫されている。 ○本文中の基礎・基本となる用語は、太字で目立つよう工夫されているとともに、脚注に用語解説が掲載されるなど、語句理解が図られている。また、学習内容に関連する語句について、脚注の「言葉」コーナーで解説するとともに、各題材の「調べよう」では、語句について調べる活動が適宜設定されており、語句に関する理解を深められるよう工夫されている。	○各題材に、「考えよう」「調べよう」「話し合おう」などの言語活動が提案されている。また、すべての題材が、課題発見「見つける 気づく」、課題解決「わかる できる」、学習を深める「生かす 深める」の問題解決に向けた3つ学習活動で構成されており、思考力・判断力・表現力等の育成につながるよう工夫されている。 ○本文中の基礎・基本となる用語は、太字で目立つよう工夫されているとともに、脚注に用語解説や豆知識が掲載される「ひとロメモ」が豊富に掲載されており、語句理解と思考を深めるための手助けとなっている。また、各題材の「調べよう」では、語句について調べる活動が適宜設定されており、語句に関する理解を深められるよう工夫されている。

【選定の観点3】

児童が主体的・対話的に学ぶことができるよう、探究意欲を高める工夫・配慮がなされ、さらに、学んだことを活用した発展的な学習が展開しやすいこと。

発行者名	
2 東書	9 開隆堂
○各題材に、「話し合おう」「調べよう」「やってみよう」「深めよう」とする学習活動が提案されており、主体的・対話的に学ぶことができるよう工夫されている。 ○「深めよう」では、習得した知識・技能等を活用しながら、思考ツールを用いた活動や、友達の意見や作品を参考に新たな提案を行う活動が提示されており、探究意欲を高め、さらに発展的な学習につながるよう工夫されている。 ○各所に設けられている制作実習や調理実習の題材では、見開き2ページを使って、左ページから右ページにつながる形で、実習の手順が写真やイラストを多彩に用いながら示されるとともに、器具の正しい使い方と間違った使い方を比較したり、使用中に点検すべきチェックリストが取り上げられたりするなど、安全に実習を進めるために必要な情報が分かりやすく提示されている。 ○家庭や地域の課題解決に向けた実践例や、レポートやスクラップブックなど既習事項を生かした様々なまとめ方や表現形式を紹介する「生活を変えるチャンス！」が、長期休業中にも取り組みやすいよう各学期末に設定されており、学校や地域の実態に応じた学習活動が進めやすい。 ○各学期末に、「生活を変えるチャンス！」として、それまでの学習を生かして、児童自身が生活を見つめ直し、課題を見付け、その課題解決に向けて活動する実践例が複数掲載されており、PDCAサイクルを意識した学習の流れが図示されるなど、既習事項の定着を図り、さらに発展的な実践活動につなげられるよう工夫されている。	○各題材に、「考えよう」「調べよう」「やってみよう」「まとめよう」とする学習活動が提案されており、主体的・対話的に学ぶことができるよう工夫されている。 ○各題材の扉ページには、写真やイラストに込められた意味やメッセージなどについて、様々な角度から推察するフォトランゲージの手法が取り入れられており、探究意欲を高め、さらに発展的な学習につながるよう工夫されている。 ○各所に設けられている制作実習や調理実習の題材では、見開き2ページを使って、手順や作業過程などの大切な内容が横流れのレイアウトで統一して示されており、分かりやすい。また、写真やイラストは児童目線でイメージしやすく、簡単な作業からスモールステップを繰り返していく構成で、安全な実習が進めやすい。 ○持続可能な社会へとつながる環境や防災、伝統文化などをテーマに、家庭や地域の課題解決に向けた実践例などを紹介する「チャレンジコーナー」が、長期休業中にも取り組みやすいよう各学期末に設定されており、学校や地域の実態に応じた学習活動が進めやすい。 ○各学期末の「チャレンジコーナー」や各学年末の「生活の課題と実践」の特設ページでは、具体的な実践例や、学習した内容を基に自ら課題を設定し解決を図るための手順と方法が5段階のステップで示されるなど、既習事項の定着を図り、さらに発展的な実践活動につなげられるよう工夫されている。

【選定の観点4】

生活をよりよくしようと工夫する資質・能力の育成に向け、生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、自分の生活における課題を解決し、より豊かにすることを追究する活動が展開しやすいこと。

発行者名	
2 東書	9 開隆堂
○家庭科の見方・考え方について、「家庭科の窓」として、巻頭の折込資料で詳しく紹介するとともに、各題材で学んだ知識・技能を生かし、自身の生活に照らして捉える見方・考え方が示されており、見方・考え方を働かせた学習が進めやすい。また、「家庭科の窓」には、巻頭の折込資料が「リンク」として紹介されており、繰り返し確認するよう意識付けが図られているなど、よく工夫されている。 ○各題材は、まず家族の一員としての自身の役割や生活を見つめ直し、次に実習を行った後、その実習で習得した知識・技能を生かして、実際に家庭で実践するとともに、実践したことを生かして家族の中での役割や実生活の改善等につなげる構成に統一されており、生活の課題を解決し、よりよくしようとする資質・能力の育成が図りやすく、よく工夫されている。 ○各題材の「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」では、学習内容をまとめ、話し合ったり発表したりしながら、これからの自分の生活に生かしていけるよう構成されている。また、「生活を変えるチャンス！」では、問題解決的な流れで生活をよりよく変える機会を捉える学習活動が提案されるなど工夫されている。	○巻頭の折込資料に、四つ葉のクローバーのイラストを用いて、見方・考え方が示されるとともに、各題材には、キャラクターの吹き出しで、その題材で重視される見方・考え方が示されるなど、見方・考え方を働かせた学習が進めやすい。 ○各題材の実習等で習得した知識・技能を活用して、実践的な活動に結び付けられるよう題材の構成が工夫されるとともに、特設ページでの実践につなげるなど、生活をよりよくしようとする意欲を高められるよう工夫されている。 ○各題材の「生かす・深める」では、学習をまとめ、話し合ったり発表したりしながら、これからの自分の生活に生かしていけるよう構成されている。また、各学期末の「チャレンジコーナー」や各学年末の「生活の課題と実践」において、家庭や地域、学校での実践例が複数掲載されており、家庭での実践につなげて、生活をよりよくするための学習活動が展開しやすい。

【選定の観点5】

児童の家庭生活への関心を高め、実践的・体験的な学習活動を通して、衣食住等の生活の営みや我が国の伝統的な食文化を大切にする意欲や態度、また、自立した消費者としての素養を育めるよう工夫・配慮されていること。

発行者名	
2 東書	9 開隆堂
○「我が家流団らんタイム」として、児童自身やその家族が、家庭生活の中で、できること・すべきことを見つめ直し、その改善を考える活動が設定されており、実践的・協働的に学習できるよう工夫されている。また、地域と連携した小学校の取組が紹介されるなど、自分の生活を見直すことや、地域社会での実践的な活動の意識付けが図られており、家庭生活や地域への関心を高め、家族や地域の人々とのつながりの大切さを実感できるよう工夫されている。 ○和食や日本各地の伝統的な郷土料理などが、題材や資料として取り上げられるとともに、「家庭科の窓」で示される見方・考え方のひとつである生活文化と関連付けて、「日本の伝統」マークを付して、生活の中にある日本の伝統や文化の大切さなどに気づき、それらを大切にする意欲や態度の育成につながるよう工夫されている。 ○持続可能な社会に関連する題材では、「家庭科の窓」において、その見方・考え方が明示されるとともに、「環境」マークを付してE S Dについても意識できるよう工夫されている。また、消費者教育について学習する題材では、持続可能な社会の見方・考え方を生かし、SDG sの目標とも関連付けながら、環境に配慮し、豊かな未来社会の担い手としての意欲や態度の育成が図りやすい。 ○題材「持続可能なくらしへ 物やお金の使い方」において、商品の購入における実際の流れがチャート式で示されているとともに、多様化する消費活動に対する理解を深めるための情報や知識が豊富に紹介されており、自立した消費者としての素養を育成できるよう工夫されている。	○家庭生活や家族の題材が各学年のはじめに設定されており、生活を見つめ直すことから学習を始めるよう工夫されているとともに、家庭生活においてどのような役割があるのかを見つめ直したり、自分にできる役割やそれを実践するための手順・方法について考えたりする題材が適宜設けられている。また、実際に小学校で行われた地域での取組について考える題材など、家族や地域との関わりの中で、その大切さについて考えを深められるよう工夫されている。 ○関連する題材には、「伝統」マークが付されるとともに、巻末の特設ページなどにおいて、和食や郷土料理、伝統的な民家、和服、風呂敷文化等に加え、日本各地の祭りや地域行事等が紹介されるなど、生活の中にある日本の伝統や文化の大切さや、それらを大切にする意欲や態度の育成につながるよう工夫されている。 ○持続可能な社会について、関連する題材ではキャラクターの吹き出しで見方・考え方が明示されるとともに、環境マークやキャラクターによる環境を考える視点の投げかけなどによりE S Dについても意識できるよう工夫されている。また、「持続可能な社会を生きる」という題材が、6年生最期の家庭科学習の総まとめとして取り上げられるなど、環境に配慮し、豊かな未来社会の担い手としての意欲や態度の育成が図りやすい。 ○関連する題材には「消費」マークが付されるとともに、題材「生活を支えるお金と物」では、働いて収入を得ることの大切さ、収入と支出、買い物の仕組みや手順、商品表示やマークについて考える活動が提案されており、自立した消費者としての素養を育成できるよう工夫されている。

【選定の観点6】

題材構成の系統性・発展性に加え、カリキュラム・マネジメントの視点から他教科等や現代的な教育諸課題との関連、また他校種との接続や家庭・地域との連携について工夫・配慮されていること。

発行者名	
2 東書	9 開隆堂
○題材構成の系統性を可視化するため、テーマごとに色分けするとともに、適宜配置される「いつも確かめよう」コーナーで、習得した知識・技能を次の題材でも繰り返し確認し、学習活動に生かされるよう工夫されている。 ○4年生までの学習内容も含め、他教科等や道德教育との関連や、環境、食育、伝統文化、キャリア教育等との関連がマークで示されたり、「資料」の中で紹介されるなど、カリキュラム・マネジメントの視点にも配慮されている。また、小学校英語と関連して、家庭科に關係する英単語とその日本語訳が脚注に掲載されるなど工夫されている。 ○巻末資料に、糸、アイロン、ミシン等の縫製作業の際の実習の手引き、日本各地の郷土料理、栄養素による食品の分類表等が紹介されており、それらに関連する学習を行う際の手助けになるとともに、日本各地の主要都市の月別気温と湿度が掲載されており、社会科と関連付けて地域の特徴を踏まえた衣食住を考える学習への手立てとなっている。 ○各題材において、中学校技術・家庭科との関連がマークを付して適宜紹介されるとともに、巻末に、2年間の学習を振り返って中学校の学習につなげるための特設ページが用意されるなど工夫されている。 ○題材「あなたは家庭や地域の宝物」では、家族や地域の人々との関わりや地域の人々との交流例が掲載されており、家庭や地域と連携した学習活動を展開する上で有効である。また、裏表紙に「豊かな学びが未来を拓く」として、保護者へのメッセージが掲載されている。	○5年生では、題材が細かく構成・配列され、スモールステップで学習を積み上げ、6年生では、習得した知識・技能等を基に、計画的に応用させながら生活に生かしていけるよう配列が工夫されている。 ○各題材で、他教科等や道德教育との関連や、環境、防災、伝統文化、キャリア教育等との関連がマークで示されたり、脚注コーナーで紹介されるなど、カリキュラム・マネジメントの視点に配慮されている。また、小学校英語と関連して、家庭科で使われる用語や調理器具の英語表記が紹介されるなど工夫されている。 ○巻末資料に、生活の中にあるプログラミングや日本各地の食や祭りなどの伝統文化、栄養素による食品の分類等が紹介されており、それらに関連する学習を行う際の手助けとなるよう工夫されている。 ○巻末に、2年間の学習を振り返り、中学校の学習につなげる特設ページが用意されており、テーマごとの小学校の学習と中学校の学習の違いを写真やイラストを用いて紹介するなど工夫されている。 ○巻頭資料に、家庭・地域・中学校とのつながりが写真やイラストを用いて紹介されるとともに、家庭や地域の人々との関わりに関する題材が適宜取り上げられている。また、裏表紙に「保護者の皆様へ」として、保護者へのメッセージが掲載されている。

【選定の観点7】

基本的人権の尊重及び道徳性の育成の視点に立った内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道徳教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。

発行者名	
2 東書	9 開隆堂
○幼児や高齢者、障害のある人、外国籍の人との関わりなどに関する題材が適宜取り上げられている。また、記述、写真、イラストなども人権尊重の視点から配慮されているなど、人権教育の推進に向けて工夫されている。 ○道徳教育と関連する題材には、関連マークが付されるとともに、関連する内容項目も明示されるなど道徳教育と関連付けた指導が展開しやすい。	○男女の区別や障害の有無に関わらず、子どもから高齢者まですべての人が平等な関係であることを前提として、記述や課題の設定、写真やイラストなどが配慮されており、人権尊重についての理解を深められるよう工夫されている。 ○道徳教育と関連する題材には、関連マークが付されており、道徳教育と関連付けた指導が展開しやすい。

【選定の観点8】

表記や表現について、文章や写真、図表等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成等について配慮がなされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

発行者名	
2 東書	9 開隆堂
○A4版で、サイズが大きく、写真や挿絵、図等が大きく掲載され、見やすいようにレイアウトが工夫されている。 ○UDフォントが採用されており、また、色覚特性に対しても配慮されている。 ○造本は堅牢で、再生紙や植物油インキの使用など環境にも配慮されている。	○幅の広いA3版で、文字の大きさ、字間や行間も読みやすく、優しい配色とイラストでレイアウトも工夫されている。 ○CUDが採用されており、特別支援教育の専門家による校閲がなされている。 ○造本は堅牢で、環境に配慮した用紙やインキが使用されている。

※CUD：カラー・ユニバーサル・デザイン、UDフォント：ユニバーサル・デザインフォント